

平成29年度3月修了 材料系修士論文発表会

開催日:2018年2月13日(火)

会場:すずかけ台キャンパス集合室1

時間	発表者	審査員(主査)	審査員	論文題目	コース
9:00 ~ 9:18	内山 雄貴	北野 政明	細野 秀雄 原 亨和	カルシウムアミド担持ルテニウム触媒の構造解析と活性発現メカニズムの解明	材料コース
9:18 ~ 9:36	辻 祐樹	北野 政明	細野 秀雄 原 亨和	Sodium Naphthalenide還元法で合成したCo-Mo合金ナノ粒子触媒によるアンモニア合成	材料コース
9:36 ~ 9:54	深津 佑平	北野 政明	細野 秀雄 原 亨和	Ni-W複合ナノ粒子触媒によるアンモニア合成および分解	材料コース
9:54 ~ 10:14	金井 綾香	細野 秀雄	平松 秀典 神谷 利夫 真島 豊 松石 聡	F導入によるアモルファスIGZOの電子構造及びTFTIにおけるNBIS特性評価	材料コース
10:14 ~ 10:32	佐藤 完	細野 秀雄	松石 聡 川路 均	3Dディラック半金属候補物質Yb ₃ PbOとYb ₃ SnOの合成と電子物性	材料コース
10:32 ~ 10:50	西 拓馬	細野 秀雄	平松 秀典 多田 朋史	キャリアドーピングしたZrOS多形の半導体特性と点欠陥の電子構造	材料コース
10:50 ~ 11:00	休憩				
11:00 ~ 11:20	山本 晃司	細野 秀雄	真島 豊 多田 朋史 平松 秀典 松石 聡	アモルファス酸化物半導体を用いた電荷注入および低電圧駆動有機ELの実現	材料コース
11:20 ~ 11:38	菅野 志優	多田 朋史	細野 秀雄 松石 聡	第一原理計算を用いた水素系高温超伝導物質探索と電子化物における電子相関モデルの理論的研究	材料コース
11:38 ~ 11:56	西山 航平	多田 朋史	北野 政明 大場 史康	第一原理計算を用いたRu担持Ca(NH ₂) ₂ 触媒の表面構造の解析	材料コース
11:56 ~ 12:14	太田 雅人	神谷 利夫	平松 秀典 片瀬 貴義 真島 豊	アモルファス酸化物半導体a-In-Ga-Zn-O薄膜中の欠陥密度と電子状態解析	材料コース
12:14 ~ 12:32	二角 勇毅	神谷 利夫	平松 秀典 片瀬 貴義 真島 豊	遷移金属元素を発光中心としたアモルファス酸化物半導体蛍光体薄膜の探索	材料コース
12:32 ~ 13:30	昼休み				
13:30 ~ 13:48	金井 俊祐	原 亨和	鎌田 慶吾 北野 政明	金属リン酸塩を基盤とした酸塩基触媒の合成とアセタール化反応への応用	材料コース
13:48 ~ 14:06	森 大洋	原 亨和	鎌田 慶吾 北野 政明	水素化カルシウム担持ルテニウム触媒を用いたアンモニア合成	材料コース
14:06 ~ 14:24	齊藤 勇人	鎌田 慶吾	原 亨和 北野 政明	ペロブスカイト型酸化物触媒による酸素分子を用いたアルケンの酸化反応	材料コース
14:24 ~ 14:42	細田 和也	鎌田 慶吾	原 亨和 北野 政明	担持金属触媒を用いたベンゼンとアンモニアからの直接アニリン合成	材料コース
14:42 ~ 15:00	西谷 宣彦	大場 史康	松石 聡 片瀬 貴義	半導体における点欠陥形成とドーピング限界の理論的検討	材料コース
15:00 ~ 15:20	原田 航	大場 史康	多田 朋史 神谷 利夫 平松 秀典 松石 聡	第一原理計算を用いた窒化銅および窒化亜鉛の電子構造に関する研究	材料コース
15:20 ~ 15:30	休憩				
15:30 ~ 15:50	望月 泰英	大場 史康	神谷 利夫 東 正樹 川路 均 多田 朋史	第一原理格子動力学に基づいた層状ペロブスカイトの歪誘起構造転移に関する研究	材料コース
15:50 ~ 16:08	太田 裕貴	若井 史博	西山 宣正 川路 均 東 正樹	窒化ケイ素β相およびγ相多結晶体の比熱測定とβ-γ平衡相境界の決定	材料コース
16:08 ~ 16:26	菅近 駿	若井 史博	西山 宣正 大場 史康 東 正樹	有限要素法シミュレーションを用いた粘性焼結における気孔の収縮異方性解析	材料コース
16:26 ~ 16:44	仲本 裕	若井 史博	西山 宣正 細田 秀樹 東 正樹	ナノインデンテーション法による耐環境コーティング構成層のヤング率の温度依存性評価	材料コース
16:44 ~ 17:02	和田 雅史	若井 史博	西山 宣正 曾根 正人 東 正樹	マイクロカンチレバーを用いた多結晶MgSiO ₃ ペロブスカイトの破壊挙動	材料コース
17:02 ~ 17:22	Mondarte Evan Angelo Quimada	林 智広	吉本 護 北本 仁孝 柘植 文治 松田 晃史	A Closer Look to Streptavidin-biotin Intermolecular Dynamics Directly Probed via Atomic Force Microscopy	材料コース